

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary 一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 ☎491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931

UNITE FOR GOOD

URL:<http://rc138.org> E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2026年2月5日 第3666回例会

プログラム

卓話

帖佐義文氏(一宮市消防長)
テーマ「消防活動について」

国歌 「君が代」
ロータリーソング 「奉仕の理想」

2月度のプログラム

- 5日 卓話 帖佐義文氏(一宮市消防長)
- 12日 休会 定款第7条第1節d-1
- 19日 会員卓話 坂野公治君
- 26日 卓話 家田 崇氏(南山大学法学部教授)

会員誕生日おめでとう

- 岸 岩男君(2月 5日)中島崇介君(2月 6日)
- 山上哲司君(2月 8日)加藤 亘君(2月 9日)
- 光寄賢一君(2月12日)都築 健君(2月17日)
- 岩田 功君(2月19日)坂倉慶信君(2月22日)

会員夫人誕生日おめでとう

- 久保数馬君夫人 梢 様(2月 1日)
- 加藤寛之君夫人 奈 緒様(2月 2日)
- 木村憲彦君夫人 典 子様(2月 7日)
- 梅谷朋志君夫人 弓 子様(2月 7日)
- 伊藤彰彦君夫人 由美子様(2月 7日)
- 浅野 一君夫人 泰 子様(2月12日)
- 高木道久君夫人 俊 子様(2月15日)
- 岸 岩男君夫人 えり 子様(2月16日)
- 光寄賢一君夫人 敦 子様(2月20日)
- 則竹伸也君夫人 由 美様(2月22日)
- 服部昌志君夫人 佳 子様(2月22日)

結婚記念日おめでとう

- 加藤寛之君(2月 2日) 大丸貴子君(2月10日)
- 高木道久君(2月11日) 中島幸介君(2月11日)
- 野杵晃充君(2月14日)

次回の予定

- 12日 休会 定款第7条第1節d-1
- 19日 会員卓話 坂野公治君

会 長	山上 哲 司	会長エレクト	桑原 英 寿
副 会 長	梯 國 彦	副 幹 事	吉山 佐人規
幹 事	大 鹿 晃 裕	会報委員長	梅 谷 朋 志

第3664回例会の記録 2026年1月22日(木)

会長挨拶

山上哲司

先日、白洲次郎が晩年を過ごした東京都町田市の邸宅「武相荘」を紹介するテレビ番組を興味深く見ておりました。本日は白洲次郎が長く理事長を務めた軽井沢ゴルフ倶楽部のメンバーであった鍋島直泰についてお話をさせていただきたいと思います。

鍋島直泰は1907年生まれ、鍋島家第13代当主、侯爵であり貴族院議員も務めていました。1933年～1935年日本アマチュア選手権3連覇した名ゴルファーであります。自動車の愛好家としても知られ、愛車1935年イスパノ・スイザK6はトヨタ博物館に展示されています。私は大学時代ゴルフ部に所属していました。当時(1970年代後半)とりわけ関東地区はガチガチのアマチュア美学の世界で、その頂点に君臨していたのが「殿様」と呼ばれた鍋島直泰でした。1966年に発売されたピン・アンサー・パターはゴルフ界にセンセーションを巻き起こしました。しかし、殿様はピン・パターについて「皆そんなにパットを入れたいのかね」と語ったと伝えられています。その形状が彼の美学とは相いれなかったのでありましょう。私は、殿様の面目躍如たるコメントや分解写真に残る実に美しいスイングにあこがれた学生時代を懐かしく回顧している一人のシニアゴルファーであります。

委員会報告

ニコボックス

大丸貴子君

☆ 足立 誠君

今春大成高校へ入学するための「入学試験」で私学56校で倍率1位(名目)となりました。応援お願い致します。

☆ 森 隆彦君

昨年、11月8日にレイクグリーンゴルフ場にてホールインワンを達成いたしました。つきましては、来たる3月12日にチャリティゴルフコンペ&パーティーを開催させていただきます。多数のご参加くださいますように御願い申し上げます。

☆ 萩原 仁君

2月1日付で名古屋教育旅行事業部に異動が決まりました。6年間に渡りお世話になり、本当にありがとうございました。まだ名古屋に居ますので、よろしければ誘って下さい。

☆ 鶴飼雅弘君

本日は料亭菊水4代目の平松千直さんをお迎えして卓話をいただける喜びで、平松さんよろしくお願いたします。

☆ 山上哲司君 大鹿晃裕君

本日はロータリークラブはもちろん会社も個人的にもお世話になっている旧一宮市内では他に無い雰囲気料亭菊水さんの四代目平松千直さんを招いて一宮の歴史の一部に触れる話が楽しみです。宜しくお願致します。

出席報告

現在の会員数 110名
本日の出席数 54名
前々回の出席率 100%

***** プログラム *****

卓話

平松千直氏(料亭 菊水四代目)
テーマ「花岡の歴史と料亭菊水の歩み」



私が生まれ育ってきた一宮市泉、かつて「花岡」と呼ばれた花街の歴史と、そこに誕生した料亭菊水の歩みについてお話いたします。菊水に代々残る資料や、近隣の方々から伺ったお話をもとに、簡潔にご紹介させていただきます。

花岡は、かつて「名古屋の奥座敷」と称されるほど栄えた花街であり、大正末から昭和初期の最盛期には、600 人ももの芸妓・舞妓が在籍していたと伝えられています。それは、一宮が日本のほぼ中央に位置し、古くから東西南北の街道が交わる交通の要所として発展してきたことにより、街道沿いに多くの宿屋や料理屋が生まれ、花柳界が形成されていきました。

明治 10 年頃には、すでに 10 数軒の貸座敷業者が存在し、置屋や料亭も次第に増えつつありました。さらに、明治 19 年の東海道線開通によって人の流れは駅周辺へと移り、花柳界は一層活気づく一方、風紀の乱れといった社会的課題も生じるようになります。加えて、明治 24 年の濃尾大震災後には、復興に伴う人口流入が重なり、状況はより複雑なものとなりました。

こうした中で、花街を健全に保とうとする動きが生まれ、料亭による「共進組」と芸妓置屋の「真澄連」が組織され、両者は協力体制のもとで改善に取り組みました。その後、これらとは別の組織も誕生し、派閥争いが激化する時期もありましたが、愛知県令第 34 号「芸妓及び芸妓置屋取締規則」の制定を契機に和解が進み、大正 9 年には新たな花街建設へと歩みを進め、対立していた者たちが集まり、券番制度の整備にも着手しました。

そして、大正 11 年、新しい花街「花岡町」が完成すると、一宮を代表する文化の拠点としての歩みが、ここから本格的に始まりました。また、花岡の誕生とほぼ同時期に、料亭菊水もこの地で開業し、今年で創業 104 年を迎えます。もともと菊水のルーツは岐阜羽島の酒蔵にあり、四男が自社の酒を生かす道として花岡へ移り、開業したことが始まりでした。大正末から昭和初期にかけて、花岡は最盛期を迎え、花岡劇場が建てられると、有名劇団や役者の公演が相次ぎ、演歌の女王・美空ひばりや天下の美男子・長谷川一夫も、若かりし頃にこの舞台に立ったと伝えられています。

しかし、戦時体制下では芸舞妓も動員され、昭和 20 年の一宮空襲により街は焼失し、菊水も全焼しました。戦後は公娼制度の廃止や各種法令の施行により花街は急速に姿を変え、昭和 55 年の花岡券番廃業をもって、一宮の花柳界は幕を閉じます。その際、花岡券番の看板を菊水に託していただき、以来、玄関付近に大切に飾らせていただいております。そのような状況の中、歴史を受け継ぐ決意のも

と、大規模な改装工事を行うなど、今日まで歩みを重ねてまいりました。

現在の菊水は、会合や接待に限らず、両家のお顔合わせやお喰い初め、結納、披露宴、歳祝い、法事など、人生の大切な節目に幅広くご利用いただいております。また、観光事業への参画やコロナ禍での新たな挑戦が評価され、一宮商工会議所主催の 2021 年「元気な店舗コンクール」では、市長賞をいただきました。これを励みに、さまざまなことに挑戦し続け、和食マスターの資格も首席で取得いたしました。現在は、和食マナー講座や館内見学、映画撮影への協力などを通じて、暖簾と記憶を未来へとつなぐ取り組みを続けております。

そして、第 1 回、第 2 回の「いちのみやフォトロゲイニング」には、菊水もチェックポイントとして参加いたしました。フォトロゲイとは、観光とスポーツを掛け合わせた、世界的にも注目されている観光スポーツイベントです。その事前授業の一環として、委員長の鶴飼雅弘様とともに地元高校で授業を行い、イベントの魅力やチェックポイントとしての振る舞い方についてお話しさせていただきました。当日は玄関で待機し、手作りの応援グッズで温かいおもてなしを心がけた結果、4 時間で約 120 名の方にお立ち寄りいただきました。これをきっかけに、後日ご家族とともに再訪して下さる方もおられました。現代はデジタル化が進み、人と人の交流が希薄になりがちな時代ですが、このような直接交流ができるイベントは、とても素晴らしい企画だと感じました。

結びとなりますが、地域の皆さまの思いと受け継がれてきた文化・歴史を胸に刻み、支えてくださったお客様と地域への感謝を忘れることなく、時代の変化に向き合いながら、今後も明るい街づくりに貢献できるよう精進してまいります。



昭和 23 年頃の花岡券番

***** プログラム *****

第3665回例会の記録
2026年1月29日(木)
例会变更 新春夜間例会
日本料理 江美

日本料理・江美にて会員70名が参加し、新年夜間例会が開催されました。山上会長の挨拶で例会後、則竹クラブ管理運営委員長の乾杯の発声で懇親会が開催され、梯副会長の中締めでお開きとなりました。

